

完了後の評価個表

整理番号	1-1
------	-----

事業名	民有林補助治山事業 (地すべり防止)	都道府県名	群馬県
事業実施地区名	下小越 (しもおごえ)	事業計画期間	平成元年度～平成21年度(21年間)
関係市町村名	神流町 (かんなまち)	事業実施主体	群馬県
完了後経過年数	5年	管理主体	群馬県
事業の概要・目的	<p>本地区は、群馬県西部の神流町を流れる神流川の右岸に位置し、昭和63年に地すべりの兆候である家屋の歪みや町道の亀裂などの被害が発生した。地すべりの活発化により大きな被害が懸念されたことから、人家、町道等の保全を図ることを目的として、平成元年度から地すべり防止事業に着手した。</p> <p>・主な事業内容：<small>しゅうすいせい</small> 集水井工 8基 ボーリング暗渠工 6,200m 杭工 39本 谷止工 9基 流路工 86.9m 土留工 25基 水路工 499.1m</p> <p>・総事業費：1,315,062 千円 (平成16年度期中評価時点：1,432,200千円)</p>		
① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>本地すべりにより被災するおそれのあった人家、道路等を、事業実施により保全する効果を山地災害防止便益として計上しているが、その算定基礎となっている人家の戸数、道路の延長については、特段の変化はない。</p> <p>平成27年度時点における費用対効果分析の結果は以下のとおりである。</p> <p>総便益(B) 4,365,906千円 (平成16年度期中評価時点:2,638,988千円) 総費用(C) 2,359,613千円 (平成16年度期中評価時点:1,362,100千円)</p> <p>分析結果(B/C) 1.85 (平成16年度期中評価時点: 1.94)</p>		
② 事業効果の発現状況	<p>本事業を実施したことにより、地すべりの活動が抑制され、人家、道路等の安全が保たれている。</p>		
③ 事業により整備された施設の管理状況	<p>本事業により整備した地すべり防止施設については、群馬県が定期的に点検を行い、適切な維持管理を行っている。</p>		
④ 事業実施による環境の変化	<p>本事業の実施により地すべりが安定したことで、植生が回復し、周囲との景観の調和が図られてきている。</p>		

整理番号	1-2
------	-----

<p>⑤ 社会経済情勢の変化</p>	<p>前回、期中の評価を実施した平成16年度以降、保全人家、施設等に特段の変化はない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な保全対象：人家 70戸、国道 910m、町道 1,140m、林道 280m
<p>⑥ 今後の課題等</p>	<p>現在、地すべり活動は見られず、改善措置等の必要性は見られない。 今後も引き続き、地すべり活動の再発を監視するとともに、施設の維持管理を適切に実施していく必要がある。</p>
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性：地すべり活動が顕著化し、人家、道路等へ被害を与える恐れがあったことから、必要性が認められる。 ・ 効率性：地下水の排除を目的とする集水井工等の抑制工を主体として選定し、対策の効果を検証しつつ、杭工等の抑止工を最小限に抑えるなど、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で実施しており、コスト縮減が図られたことから、効率性が認められる。 ・ 有効性：地すべり対策を講じることにより、人家、道路等の保全を通じて、民生の安全・安心が確保されていることから、有効性が認められる。

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：地すべり防止事業

都道府県名：群馬

施行箇所：多野郡 神流町 大字 魚尾(下小越)地内

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
災害防止便益	山地災害防止便益	4,365,906	
総 便 益 (B)		4,365,906	
総 費 用 (C)		2,359,613	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{4,365,906}{2,359,613} = 1.85$		

評価箇所概要図

整理番号	1
------	---

群馬県

事業名	民有林補助治山事業(地すべり防止)	地区名	下小越(しもおごえ)
-----	-------------------	-----	------------

